



和太鼓演奏「楽樂」

枚方・交野地区保護司会70周年を迎えて

発行所 枚方・交野地区保護司会
ホームページ
www.hirakata-shakyo.net/hogoshikai/
発行者 山 本 光 茂

関係団体並びに市民の皆様のご協力とご支援があつてこそと感謝しております。

これも偏に先輩保護司、関係団体並びに市民の皆様のご協力とご支援があつてこそと感謝しております。

七〇年の歴史の中で、保護司制度も国に於いて、その時々、社会情勢に合わせ改革改正が行われ、保護司

を引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



枚方・交野地区保護司会
会長 山本 光茂

あけましておめでとうございませう。

会長に就任して、早一年になろうとしております。昨年を振り返ってみますと大きな事業として、本保

会を開催し、また今日までの会の歴史を振り返った葉を作成し配布する事としました。

今年も、目まぐるしく変化する社会情勢とそれに伴う犯罪に対応した保護観察の充実強化に保護司会に於

また、この事業に携わり、運営に当たって頂きました実行委員会のご協力があったことと改めて感謝と御礼申し上げます。

会では、それに即し研鑽を積み重ねてきました。また、国の新たな取り組みとして、市町村に於いて再犯防止推進計画を策定することとなり、本保護司会も枚方市・交野市と連携を深め取り組んでまいりたいと思っております。

TOPICS

- ◎ 一面 保護司会会長挨拶
 - ◎ 二面 枚方・交野両市長挨拶
 - ◎ 三面 大阪保護観察所長挨拶
 - ◎ 四面 関係三団体会長挨拶
 - ◎ 五面 社会を明るくする運動
 - ◎ 六面 管外研修に参加して
 - ◎ 七面 作文コンテスト
 - ◎ 八面 保護司の栄誉と動静
- 七〇周年の思い・記念式典
- 新・退任保護司挨拶

枚方市長 伏見 隆



新年あけましておめでとうございます。

新しい年の幕開けを健やかに迎えのことに、お慶び申し上げますとともに、枚方・交野地区保護司会が設立七〇周年を迎えられたことを、心よりお祝い申し上げます。

皆様には、犯罪や非行のない住みよい社会の実現に向け、七〇年という長きにわたり、歴代の保護司をはじめとした更生保護に携わる方々の思いをつなぎながら、献身的な活動に日々取り組んでこられましたことに心より敬意と感謝の意を表します。

さて、枚方・交野地区保護司会では平成二五年の枚方市に続き、翌年、交野市に「枚方・交野地区更生保護

サポートセンター」が整備されました。

処遇活動や地域連携、更生保護活動の情報発信に取り組まれるなど、常に地域の最前線でご活躍いただく皆様の拠点として活用されています。

今後身近な相談役として、各センターと地域が密接に関わりながら、犯罪や非行のないよりよい社会の実現にご尽力されますことをご期待申し上げます。

本市といたしましても、これまで以上に皆様方と連携を深めながら、安全・安心に暮らせるまちづくりを目指してまいりますので、引き続き、お力添えをいただきますようお願い申し上げます。

結びにあたり、枚方・交野地区保護司会の今後益々のご発展と、皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



枚方市 ひこぼしくん

交野市 おりひめちゃん

交野市長 黒田 実



新年明けましておめでとうございます。

皆様には、ご家族とともに健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げますとともに、枚方・交野地区保護司会設立七〇周年を心よりお祝い申し上げます。

長きにわたり、犯罪や非行のない安全・安心な地域社会にむけ、更生保護活動に携わってこられました歴代会長はじめ保護司会の皆様に、心より敬意を表しますとともに感謝申し上げます。

平成二八年に「再犯の防止等の推進に関する法律」が施行され、罪を犯した人たちの立ち直りには地方自治体の支援も重要であることが示されました。

平成から令和となり、更生保護制度が七〇年を迎え

ました昨年、「矯正施設所在自治体会議」が設立され、交野女子学院がある本市も会議に参加しました。

大阪保護観察所や枚方市とのさらなる連携、自治体会議を通じた情報交換、政策提言に取り組み、地域ぐるみの再犯防止施策の推進に努めて参りたいと考えております。

毎年、全国的に展開されます「社会を明るくする運動」も今年で第七〇回となります。

犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について、すべての国民が理解を深め、犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築いていく為に、皆様のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

枚方・交野地区保護司会のみますますのご発展と、皆様のご健勝・ご多幸をお祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

大阪保護観察所
所長 古川 芳昭



新年あけましておめでとうございます。

このたび、枚方・交野地区保護司会が設立七〇周年を迎えられたことを、心からお祝いを申し上げます。

貴地区は、戦後の更生保護制度の発足当初から、現在までの長きにわたり、それぞれの地域事情に即した活動と、それを実効たらしめる組織作りに邁進され、大きな成果を上げてこられました。改めて衷心より敬意を表する次第です。

お陰をもちまして、保護観察事件等は近年減少傾向にあるところです。しかし、刑の一部執行猶予制度の対象者等薬物事犯者はまだ増加することが懸念されます

し、青少年の間で大麻の乱用事案が増加傾向にあることや、暴走グループが復活しつつあることも問題となっております。

皆様方は、地域に対する愛情と人は必ず変われるという信念を原動力として、日々活動されておられることと存じますが、こうした問題等に適切に対処していくために、当庁はもちろん地域の教育・福祉や自助グループなど関係機関・団体と一緒にあった処遇や犯罪予防活動が求められています。

更生保護サポートセンターを活動拠点として対象者等の特性に応じた連携活動を展開すること等により、令和の新しい時代における更生保護を推進いただくことを御期待申し上げます。



枚方・交野地区更生保護女性会
会長 舘 福美



枚方・交野地区保護司会が結成七〇周年を迎えられ誠におめでとうございます。

七〇年もの長きに亘り激動の世の中で対応され、又『社会を明るくする運動』の推進も続けて来られた先輩方の活動は私達への刺激となり、助けられています。

記録誌等によりますと、前身の更婦は、当時の保護司会会長のお力添えで婦人保護司・保護司夫人らで結成され、現在では女性保護司、保護司夫人、趣旨に賛同の女性等に加え、保護司会・観察所等のご指導の下、楽しくボランティア活動を行っております。これからも更生保護四団体の一角として頑張ります。

枚方・交野地区協力雇用主会
会長 瀧川 英俊



枚方・交野地区保護司会七〇周年、おめでとうございます。

保護司会の皆様におかれましては、罪を犯した人の社会復帰を支援するとともに犯罪や非行の予防など幅広い活動に心から敬意を表します。

未来ある子どもたちが犯罪や非行から守られて、心身共に健康にして夢と希望に満ち溢れた社会人として育ってくれることは私たちの願いであります。保護司会は元より更生保護女性会、BBS会の皆様そして、協力雇用主会の更生保護四団体を中心に犯罪のない社会に向けてこれからも宜しくお願い致します。

枚方・交野地区BBS会
会長 惠阪 順三



枚方・交野地区保護司会設立七〇周年を迎えられ謹んでお祝い申し上げます。

偏に七〇年の年月は簡単に言い表せない道のりを歩んで来られた事と思います。戦後の昭和二四年頃から誰もが貧困に喘いでいた世の中で、社会奉仕者として

更生活動に寄与され七〇年。経済成長の陰で貧富差や複雑な社会環境の波に耐え切れず犯罪に染まった者も少なくありません。その中で献身的な保護活動で更生に至った者は数知れず多いと思います。私達BBS会は他の更生保護協力団体と共に保護司会の一層の発展に協力して行きたいと思っております。

七〇周年によせて



枚方・交野地区保護司会 顧問 大槻 哲也

私たち枚方・交野地区保護司会は七〇周年を迎え皆さまと共に喜び合いたいと思います。

今日、このように地区保護司会が継続・発展することが出来たのは、歴代役員や先輩方のご苦労とご努力があったことを忘れてはなりません。

さて、平成二十一年に六〇周年を迎えて以降、この十年間は更生保護や保護観察制度も時代と共に変化してまいりました。

就労支援のため協力雇用主会の発足や市役所での雇用また、保護司の充足率を上げるため保護司候補者検討協議会の設置、さらにはサポートセンターを枚方・交

野両市のご理解・ご協力のもと全国でも初めて、一つの地区保護司会に二か所のサポートセンター設置が実現しました。

私たち保護司の活動も対象者に対する保護観察だけにとどまらず、広く社会に更生保護についての理解協力を深めてもらうため「社会を明るくする運動」をはじめとし、地域活動への参加、特に学校との連携を密にしていまいりました。

このように、更生保護活動も大きく変化中、これからの課題は複雑多様化する活動に対応するため更なる知識の向上が必要です。

今後も犯罪のない明るい街づくりのため、保護司会が先頭に立って地域社会と共に活動してまいります。

70周年の思い

市民の皆様と共に



枚方・交野地区保護司会 前会長 山本 卓也

明けましておめでとうございませう。

昨年は、枚方・交野地区保護司会に於きましては設立七〇周年という輝かしい年でありました。

これは先輩保護司の皆様方の色いろな困難や辛労を経て今日の保護司会の礎が築かれたものであります。改めて先達の皆様方に敬意と感謝を申し上げます。

そして、更生保護制度も七〇年を迎えた現在、市民の皆様から時代と共に関心と期待が向けられるようになってきました。

それは、犯罪や非行の無

い安全で安心して暮らせる地域社会を願っているからであります。

その為には、過ちをした人達を更生させ社会の一員として送り出し、再び過ちをしないようにすることが重要なことでもあります。

この目的に向かって保護司会では毎年いろいろな事業を展開しております。

市民の皆様方にもこの趣旨にご賛同を頂きますと共に本年もご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

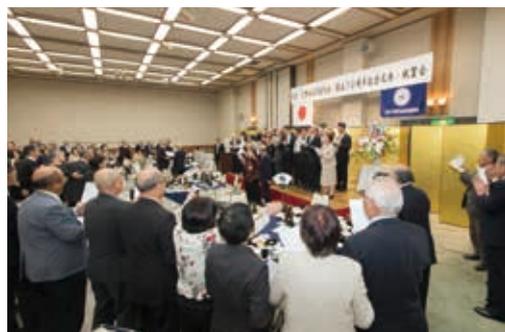
枚方・交野地区保護司会 設立七〇周年記念式典

映画会



かけがえない命と向かい合った保護司の物語。

祝賀会



御来賓の方々も壇上にながり関係機関が一つになってこの枚方・交野の更生保護に当たり、社会を明るくするのだという思いを強くする時となりました。



平井保護司は三三年の思い出を披露。

第69回 枚方・交野地区 『社会を明るくする運動』

『社会を明るくする運動』 RE:スタート

七月に入り、法務省主催で「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」をテーマに今年で六九回を迎える『社会を明るくする運動』の強調月間が全国的に展開されました。今年のキャッチコピーは、RE:スタート(リスタート)「過去のあやまち」から再出



発し、未来に向かって挑戦できる、「つまづいても立ち上がる」社会を目指す願いが込められています。当地区では、七月二日交野市ゆうゆうセンターで第六九回枚方・交野地区『社会を明るくする運動』がスタートしました。時折小雨のバラつくなか、当地区の更生保護団体の関係者をはじめ一般の皆さまも多数の参加をいただき開

会されました。

オープニングセレモニー 音楽の花



式典に先立ち、関西外国語大学吹奏学部による、体も心も弾みだす、元気一杯な「In the stone」で梅雨空を吹き飛ばすオープニングでスタートしました。会場は若さ溢れる音楽の花で盛り上がり、演奏後、アンコールの手拍子が会場一杯に沸き上がりアンコール曲の演奏に会場が一つになりました。



式典

十時二五分からの式典には本運動を支えて頂いたご来賓の皆さま方に登壇頂き本運動実施委員長・副委員長から挨拶がありました。



実施委員長・実施副委員長 挨拶

実施委員長黒田実交野市長は今年六月の最大震度六強の山形沖地震、昨年の大阪北部地震における行政の「公助」、災害ボランティアの「共助」が大切であるよう



に、自然による災害と同様に、人による災害である犯罪・非行における抑止や、犯罪にあわれた方へのケア、罪を犯した方の社会復帰も社会全体で受け止め、支え合って行く事が重要である。また、平成二八年十二月、「再犯の防止等の推進に関する法律」が施行され、交野女子学院のある交野市も「矯正施設所在自治体会議」へ参加し、枚方市とも連携し、地域ぐるみの再犯防止に務めていく考えを述べられました。

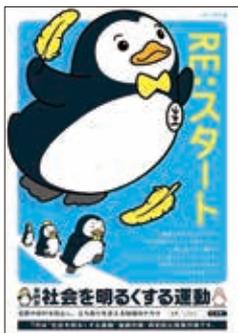




枚方市コミュニティ連絡協議会・交野市区長会へ日頃の本運動の支援への感謝を込めてテントの贈呈。

**テント贈呈式
支援への感謝**

引き続き、実施副委員長の伏見隆枚方市長からは、矯正保護キャンペーンから七〇年以上長きに渡り、思いを繋ぎ、広げてきたみんなの力、本運動の標語「見てますか スマホじゃなくってみんなの心」のもと理解と協力、啓発活動が、実り多きものになるように期待を述べられました。



枚方市駅等にて『社会を明るくする運動』のキャンペーンを行いました。

**街頭キャンペーン
ペンギンスタート(啓発メモ帳)**

特定非営利活動法人大阪府就労支援事業者機構事務局長松田慎一様から立ち直ろうとする人たちへの就労の必要性、協力雇用主会への理解を会場へのクイズを交え分かり易く講演いただきました。



**立ち直り：見守る、
支える地域のチカラ**
大阪府就労支援事業者機構
事務局長 松田 慎一

枚方・交野地区保護司会様より頂いたテント一張りは、昨年度から続く猛暑の中ででの運動会練習において、児童の休憩や集合場所、見学者の待機等に使用させていただきました。今年度も思った以上に残暑厳しく、本校所有のテントだけでは一学年が日陰に入ることでもできず、危惧していたところでしたので、大変、重宝しております。また、運動会以外でも地区の防災訓練やPTA活動にも使わせていただきます。ありがとうございました。

枚方・交野地区保護司会様より頂いたテント一張りは、昨年度から続く猛暑の中ででの運動会練習において、児童の休憩や集合場所、見学者の待機等に使用させていただきました。今年度も思った以上に残暑厳しく、本校所有のテントだけでは一学年が日陰に入ることでもできず、危惧していたところでしたので、大変、重宝しております。また、運動会以外でも地区の防災訓練やPTA活動にも使わせていただきます。ありがとうございました。



「贈呈されたテント」
交野市立倉治小学校
校長 田村 美佐

管外研修に参加して

石橋 多代子

令和元年六月三日・四日
で福井刑務所・瀬戸少年院に分かれて管外視察研修が実施され、私は福井刑務所に参加させて頂きました。
到着後、同刑務所総務部長より施設の概要の説明を受けました。

同施設内では、主に二六才以上の犯罪傾向の進んでいない受刑者の改善更生及び社会復帰に適応性を涵養するための教育・出所後の技能及び資格の付与が行われ、仕事がない・生活できないなどで再犯者を防ぐために、特に更生の心構えを自覚させて意欲を喚起させる教育指導に力を入れておられます。また、地域との関係を大切にして、災害発生時は体育館など開放して地域への協力・親睦を深めておられます。説明を頂いた後、保護司から沢山の質問が出て大変有意義な

研修となりました。

最後に刑務所作業製品（CAPIC）の展示即売会コーナーで楽しく買い物を行いました。

天候にも恵まれ、長良川うかいミュージアム・金華山頂上に建城されている岐阜城見学をして、保護司同士仲よく参加する事によって今後の活動に生かす良い学びになりました。



刑務所作業製品



研修中

「社会を明るくする運動」

作文コンテスト

大阪府推進委員会 佳作賞

「社会を明るくするために」



枚方市立開成小学校・六年 大西 凜太郎

ぼくはよくバスに乗ります。

バスに乗るといろいろな人が乗ってきます。ぼく位の子供は少なく、お年寄りや、大人、ぼくよりももう少し大きな学生の人などです。小さい子をつれたお母さんもいます。ぼくのバス停は、はしっこの方にあるので、ぼくは座れることが多いです。でもぼくはとちゅうのバス停からお年寄りが乗ってくる。とだいたい席をゆずるようにしていました。それはぼくが元氣な子供であるからです。

でもある日、ぼくはおなかがいたい時がありました。

その日、ぼくはとちゅうからお年寄りが乗ってきたことに気がつきませんでした。

すると、そのおばあさんは僕の席の横に立ってもっていた。ついでぼくの足をついてきました。ぼくはおどろいたのと、こわかったのと、そのおばあさんが席をゆずれと言っているのだと思い、だまって席をたちました。

そのおばあさんはぼくがおなかがいたいことはわからなかったと思います。でもなんだかとても悲しくなりました。ありがとうも言わなかったおばあさんは、むしろぼくがすぐに席をどかなかったことをおこっていたのかもしれない。

ぼくはそれからバスに乗った時、とちゅうからお年寄りが乗ってきたら席をゆずるようにしています。

でも、前とはちがって、ゆずってあげたいなという気持ちより、席を立たないとだめなのかなという気もちが大きくなりました。

ました。

ぼくは他の人から見て元氣な子供に見えているし、いつもはそうです。でもおなかがいたい時もあります。ぼくが次に体調が悪い時に、席をゆずらなかつたらぼくはおこられるのでしょうか。

そのおばあさんは、こどものころ、若いころに席をゆずらなかつた時に、おこられたから、自分がお年寄りになってから、ぼくに同じことしたのかもしれない。

ぼくは毎日バスに乗りながらいろんな人がいるけれど、見た目だけではその人のことはわからないと思うようになりました。元氣そうに見えても困っている人はいるかもしれないと思うようになりました。

それから、だれかにやさしくしてもらった時にそれがあたり前のことだと思わないようにしようと思うようになりました。たすけてくれる人ややさしくしてくれる人も、もしかしたら自分が大変なのにたすけてくれるかもしれないからです。

社会を明るくするのは、ぼくは想像力だと思います。聞いたことか、知らない、とかではなく、少し想像してみること。だれかをたすけることができるかもしれないからです。

たすけてもらった人は、だれかにやさしくしてもらった人は、他の人にも同じことをすると思います。

今まで困ったことがほとんどなかった人も世の中にはたすけてほしい人がいること。やその人達の気もちを少し想像するだけでも何かが変わると思います。



作文コンテスト大阪府への推せん作品

小学校の部

大阪府推進委員会

佳作賞

「社会を明るくするために」

枚方市立開成小
六年 大西 凜太郎

「あいさつのもつ力」

枚方市立開成小
六年 奥田 彩音

「地域を清潔に安全に」

枚方市立開成小
六年 石飛 侑真

中学校の部

枚方・交野地区保護司会
会長賞

「笑顔のパワー」

交野市立第二中
三年 奥西 梨乃

「私たちにできること」

交野市立第二中
三年 松田 彩花

「虐待ってなぜ起こる」

交野市立第二中
三年 中井 幹太

本コンテストは小・中学生の皆さんに日常生活、学校生活の中で体験したことを基に犯罪や非行について考えたことや感じたことを作文に書くことを通じて、「社会を明るくする運動」への理解を深めてもらうことを目的として実施しています。

本運動に対する皆さんの関心の高さが我々保護司の活動に元氣や勇氣を与えてくれます。次回も多数応募されることを期待しています。(千二百字～二千字以内) (審査員一同)

保護司の栄誉

☆令和元年秋の褒章

◎藍綬褒章 井上 清文

☆大阪更生保護大会表彰

◎近畿地方更生保護委員会

委員長表彰 大塚 光央

岡澤 静晃

市川萬里子

金剛 照祐

谷 恒雄

寺本 正敏

野村 生代

◎近畿地方保護司連盟

会長表彰 大音 博司

東 和宏

井上 秀正

加藤 冬樹

為金 信江

田村 正治

端野 寛昭

吉田 久子

家族功勞 平井八重子

◎大阪保護観察所所長表彰

永年 木田 ミツ

永年 栞宜ひとみ

永年 畑中 光昭
永年 宮内深智子
永年 吉見喜代美
池田 幸子
惠阪 順三

伊地知武志

伊藤 寛

加藤 勤

島田 尚弥

豊田 文夫

渡辺 道男

山根 裕治

◎大阪府保護司会連合会

会長表彰 田尻 文雄

中島 秀芳

三島 孝之

家族功勞 板床 誠二

家族功勞 井上 幸子

家族功勞 中川 吉基

保護司の動静

◎新任保護司

◇令和元年五月二五日付

辻 美希(上島町)

◇令和元年九月二五日付

小川 光 (南船橋)

◎退任保護司

◇令和元年九月二四日付

山本 卓也(宇山町)

山口 信博(杉)

《名誉会員に就任》

悼

福川 萬壽子 一・八・二二

謹んでご冥福をお祈りします

《名誉会員》

皆様に感謝

山口 信博



昨年の九月二四日付で、保護司を退任いたしました。

十六年間の保護司活動の中で、十年も理事を勤めさせていただいたことから、対象者の更生に苦勞した事より、皆様と共に保護司会活動(社会を明るくする運動、管外研修、枚方祭り、みのり編集、薬物乱用防止教室)

新任保護司として

辻 美希

私は、英語英会話塾を開き、講師をしております。

ボランティアでポイスカウトの副長をしている関係で、保護司のお話を頂きました。

『自分には荷が重いのではないかと悩みましたが、より良い社会人を作るポイスカウト活動と更

で得た喜びの方が印象に残っています。

枚方・交野地区保護司会は、大阪府内で二、三番目の大きな保護司会です。

先輩から引き継いできた『大阪の先頭に立っていく気構え』で、益々発展させて下さい。

本当に皆様に会えて良かったです。心から感謝です。

生に向けてお手伝いする

と言ったことが頭のなかでリンクし、お話をうかが

自分も成長できる保護司という職務を頂いたことを感謝いたします。

諸先輩の方々、ご指導をよろしくお願いいたします。

辻 美希 小川 光



編集後記

昨年は、設立七〇周年記念行事を開催し、多くの皆様から御祝と激励の言葉が寄せられた。これまでの活動を振り返り、多様化する更生保護活動に対応するために、個々の知識向上と、これまで以上の地域社会との連携が求められる。Y・H